

応募様式記入例①（イベント開催）

様式第1号（第3条関係）

提出日を記載

令和6年 5月 1日

洲本市長 様

〒656-8686

所在地 洲本市本町三丁目4番10号

名称 ●●イベント実行委員会

代表者氏名 委員長 ○○ ○○

印

代表者の役職と氏名を記載

代表者印を押印

※団体印だけの押印は不可

補助金等交付申請書

令和6年度において次のとおり補助事業等を実施したいので、補助金等を交付されるよう洲本市補助金等交付規則第3条の規定により関係書類を添えて申請します。

1 補助申請額	400,000円
2 事業の名称	洲本市未来投資推進事業 ●●イベント開催事業
3 事業の目的	事業計画書のとおり
4 事業の内容	事業計画書のとおり
5 着手・完了 予定年月日	事業計画書のとおり
6 事業の効果	事業計画書のとおり
7 添付書類	(1) 事業計画書 (2) 収支予算書 (3) その他参考資料
8 備考	

収支予算書の市補助金の額

事業計画書と同じ名称

事業計画書

交付申請書と同じ名称

事業の名称	●●イベント開催事業			
事業区分	①イベント	②町内会活動	③多様な連携	④総計戦略
(該当に○)	○ A B	C D E F G H I	J K L	M
申請者 (団体) の概要	団体名：●●イベント実行委員会			
	構成員数（町内会の場合は戸数）：10人			
	担当者職氏名：事務局長 ○○ ○○			
	担当者連絡先（電話）：0799-22-3321 (メール)：○○@city.sumoto.lg.jp			
規約や定款など：別添のとおり				団体規約等を添付

応募内容を熟知する者、応募書類を作成した者を記載（代表者でも良い）

団体規約等を添付

①目的や主旨等（実現したい目標、解決したい課題、これまでの取組実績）

●●イベント実行委員会は、●●を通した市街地の賑わい創出を目的として令和6年4月に新設した団体である。団体としての取組実績はまだ無いが、これまで団体メンバーそれぞれが●●に取り組み、令和5年度には島内外から200人を集客した実績がある。

合否に影響するので
詳細に具体的に記載

②事業の必要性、具体的な事業内容、実施手段や実施体制

かつて市内では●●が盛んに行われており、文化発信に寄与してきたが、最近ではその機会が減少している。それに伴い、●●によってもたらされた市街地の賑わいも失われている。このことから、●●イベント実行委員会メンバーが中心となり、下記の通り●●イベントを開催する。

◇開催予定日：10/1（日） ◇開催場所：市文化体育館とその周辺 ◇対象者と集客目標：島内外の●●ファン500人（受付での記名で参加者情報を把握し、入場料を徴取）

◇集客方法：イベントホームページを作成、SNSやチラシで告知 ◇イベント①：市文化体育館文化ホールで●●イベント開催（有名講師2名登壇） ◇イベント②：ホールホワイエで●●即売会開催 ◇イベント③：会場周辺で●●まち歩き開催 ※イベント詳細は別添の企画書参照

合否に影響するので、詳細に具体的に記載
パンフレットの事業概要や事業例と合致しているかが重要

③事業スケジュール（打合せ、工事着手、イベント開催など、時系列に記載）			
月 日	場 所	参加人数	内 容 等
4/9	委員会事務所	5 人	イベント内容、応募内容を打合せ
4/23	委員会事務所	5 人	イベント内容、応募内容を打合せ
<u>7/23</u>	委員会事務所	8 人	第 1 回実行委員会開催（着手予定日）
8 月上旬	委員会事務所	8 人	第 2 回実行委員会開催
8 月上旬			ホームページ、チラシ制作発注
8 月下旬			イベント告知開始
10/1	市文化体育館ほか	500 人	●●イベント開催
10 月中旬	委員会事務所		第 3 回実行委員会開催
<u>10/29</u>			支払い業務完了（完了予定日）

事業に着手する予定日と、事業を完了する予定日は「月日」まで明確に記載

【着手】令和6年4月1日以降
【完了】令和7年3月31日まで

簡潔に、わかりやすく記載

④事業の効果や成果、今後の事業展望

●●イベントに島内外からの多くの参加者が訪れることで、交流人口が増加するとともに、市街地に賑わいが生まれる。また、●●に再びスポットが当たることで、●●ファンを広く発掘でき、リピーターの確保が見込まれるほか、市内で今後●●関連ビジネスが発展することにも期待できる。

可否に影響するので
詳細に具体的に記載

見積書は単品単価 10 万円を超えるものについて添付。様式への記載だけでは説明しきれない場合には企画書やチラシ案等を添付。

⑤その他参考資料（見積書、その他計画を補足する資料などを添付）

様式第2号（第3条関係）

市補助金 = (支出合計額 - 事業収入) × 補助率
 (この区分は補助率 2/3)
 ただし、1,000 円未満は切り捨て

収支予算書

1 収入の部

区 分	予算額(円)	摘 要
市補助金	400,000	洲本市未来投資推進事業
自己資金	200,000	
事業収入	250,000	入場料@500 円×500 人
計	850,000	支出合計額と同額

イベントを通して応募者が得る収入を、ここに計上

2 支出の部

補助対象経費の科目にならない記入

区 分	予算額(円)	摘 要
報償金	100,000	出演者謝金@50 千円×2 人
旅費	80,000	出演者交通費@40 千円×2 人
消耗品費	10,000	会議資料作成に係る消耗品
食糧費	10,000	イベント当日スタッフ弁当@500 円×20 人
印刷製本費	20,000	チラシ印刷費@20 円×1,000 枚
通信運搬費	10,000	チラシ送料
手数料	50,000	新聞折込手数料
保険料	20,000	イベント保険料
委託料	200,000	ホームページ制作委託（見積書のとおり）
使用料及び賃借料	350,000	イベント会場使用料 150 千円、屋外テント等使用料 200 千円（見積書のとおり）
計	850,000	数量や積算根拠などをできるだけ記載（別添の見積等に代えても良い）

消費税は補助対象（税込みの金額を記載）

※単品単価が 10 万円を超えるものは見積書を添付